

『歯科治療はどこでも同じ』ではない！ 院長の独り言

宮本歯科 院長の宮本晃宏です。

いつも、宮本歯科を大切にいただきありがとうございます。

皆様に少しでも宮本歯科を分かってもらい、安心して治療を受けていただけるよう冊子を作りました。

本当は、医院案内のようなしっかりしたパンフレットの方が格好いいかもしれませんが、

**皆様に読んでいただきたいから
小難しく書いていません。**

2、3分で読めるものですので、どうぞお読みください。



歯科医としての第1歩・・・

まずは、私の生い立ちから、歯科医としてのはじまりまでをお話したいと思います。

昭和35年、富士市内に生まれ、小さな頃は体が弱く、自分で言うのもなんですが、おとなしい子供だったように思います。小学校3年生の時に担任が体育の先生になってから、外で遊ぶ機会が増え、体が健康になりました。ウソのような話しですが、それ以来、あまり病気にならなくなったのです。

歯科医師になりたいと思うようになったのは、小学校6年生の頃でしょうか。卒業文集に、

「0.0000000001のミスもゼロ」

というタイトルで、「精密な入れ歯を作れるような歯医者になりたい！」というような内容を書いていたようです。（なぜ入れ歯なのかは今は覚えていないのですが・・・）祖父の実家の親戚が歯医者（島根県浜田市）をやっており、小中学校の頃に何度か遊びに行っていて、今考えると、そこで影響を受けたのかもしれない。

大学に入学後は歯科の勉強と共に、合気道部で6年間を過ごし、とても楽しく、仲間と素晴らしい学生時代を過ごしたと思います。

部活に入って良かったと思うのは、先輩後輩の良い意味での上下関係です。厳しさはもちろんありましたが、卒業しても（皆同じ業界ですので）様々な情報交換をしたりと今でも良い関係が続いています。

大学時代、歯内療法（歯の神経の病気や、歯の根の周辺に関する治療法のことです。）に興味があったのですが、博士課程をとる経済的な余裕がなかったため、静岡県内の歯科医院で、まずは勤務医として歯科医師としての第一歩を踏み出しました。

最初の頃は右も左もわからず、日々患者さんと仕事に追われていただけ、という印象でした。

仕事が当時は嫌でした・・・。

当時新卒の私にとって、毎日の緊張は、並大抵ではなく、つらいと表現した方がそのときの気持ちを端的にお解かり頂けると思います。

「ただ忙しいだけの今の状況は本当に患者さんの為になってるんだろうか・・・？」そんな葛藤から、ストレスが溜まりました。

一つの救いは子供の治療をする事でした。子供は素直で、明るく、楽しく治療ができました。子供は正直ですから、痛いときは「痛いっ!」、口の中の状態が良くなった時は「先生!ありがとう!」そんな言葉がストレートに返ってきます。それらの言葉に私は反省し、励まされたのです。元来、子供が好きだというのがありますが、そのような経緯で現在もお子様の患者さんにも多くお越し頂いているのかもしれませんが。

また、勤務医時代に、東京の霞ヶ関の先生の下で、^{ほてつがく}補綴学（詰め物やかぶせ物で歯を修復する学問のことです。）の土日の1年半コースに通い、実際の患者さんと向き合う臨床治療での基礎を学びました。この時期、プライベートな時間はほとんど無く、体力的にはとてもきつかったのですが、この時に学んだ知識・経験が私の歯科医師としての土台の大きなものになっていると思います。

「技術がようやく気持ちに追いついてきた」と表現すればよいでしょうか、少しは一人の歯科医師として自信が付き、日々の診療をしっかりとこなせるようになったのがこの頃です。

最初にお世話になった歯科医院で約3年間勤務した後、宮本歯科を昭和63年、1月4日に開院しました。ところが・・・

**初日は来られた患者さんは3人でした。
開院した1年は、ほぼそれくらいの人数が続き、
0人の日も多くありました。**

医療機関といえども、患者さんが来なければ食べていくことさえままなりません。そんな中で患者さんから学んだのが、

- ・人の温かさ
- ・人の優しさ
- ・自分一人で生きているわけではない

「宮本先生、具合がよくなったよ、ありがとうね。先生のこと、友達にも紹介しといてあげるからね。」

患者さんに満足して頂いているのだろうか？という不安にかられていた当時、患者さんの優しさに涙が出そうになりました。

そのような時期を踏まえて、開院2～3年後にはおかげさまで忙しくなり、天狗になったような時期もありました。

それらを今振り返り、

「初心忘れるべからず」

この言葉の意味が最近になってようやく分かってきたような気がしています。開院当時の感謝の心をいつまでも持ち続けたいと思います。

患者さんの喜んでくれる姿や、治療の回復具合に一喜一憂しながら、いつまでも患者さんに満足をしてもらえる治療を行なってゆきます。

また、最近では単に歯科治療を行なうだけでなく、全身的な健康を診る必要性を痛感しています。なぜなら、(皆さんも、もしかすると実感されている方も多くいらっしゃるかもしれませんが)以前に比べ、アレルギー症状で悩まれている方がとても増えてきているからです。アレルギーの原因は一概には言えませんが、歯の詰め物やかぶせ物をの原料である金属である可能性があります。

今後は「**いかにアレルギーで苦しむ患者さんの役に立てるか**」というテーマで現在、研究・研鑽を行っています。普通の歯科では出来ないような治療も行い、患者さんにとってより満足できる医療を提供できればと考えています。

ただ治療を行なうだけでなく、患者さんの全身的な健康を診たり、居心地の良い場所を提供できる、そんな「**患者さんが満足できる場所**」を今後も提供できるよう努力をしてゆきます。

宮本歯科の診療指針

～患者さんが満足できる場所を提供するために～

1. 患者さんに恐怖を与えない治療

患者さんは歯医者には怖いと思われるものです。我々は少しでも、患者さんの恐怖をやわらげ、笑顔で帰って頂くために、技術はもちろん、リラックスして診療を受けて頂けるよう、歯科医院の枠に捉われない取り組みを続けてゆきます。

2. □患者さんの歯を末永く守り、健康を守ること

痛いところだけを治す、旧来の歯科治療ではなく、今後の患者さんの人生を考えた長期的な視野に立った治療を行ないます。そのために、虫歯予防・歯周病予防はもちろん、アレルギーを始めとしてお口の中が原因となりうる症状の改善へのご提案を行い、患者さんの健康をサポートしていきたいと考えています。

3. □常に患者さん・スタッフに感謝を忘れない

歯科医院は患者さんが治療に来られて初めて成り立ちます。

また、スタッフが共に診療にあたってくれて初めて成り立ちます。

患者さん・スタッフへの感謝の気持ちを常に忘れず、初心を忘れることなく、真摯に診療に最善を尽くすことを誓います。

4. □インフォームドコンセントを徹底し、伝わる説明を行う

患者さんにお口の状況をしっかりと説明し、患者さんの同意・選択を尊重した上で治療を行ないます。単にこちらからの一方的な「伝える」説明ではなく、患者さんにとってよりよく理解できる「伝わる」説明を心がけます。

5. □「宮本歯科に任せたら、絶対安心」

と言って頂けるようになること

宮本歯科の診療方針の5番目は大変難しいことです。

最善な治療を受けるために、最善な歯科医師を求めて、気軽に東京、大阪へに行くわけにはいきません。

しかし、こんな町でも、雑誌に載ってなくても、東京、大阪に行かなくても、静岡県の富士には患者さんに最善の治療ができる歯科医がいると思って来ていただきたい。（もちろん私も富士市出身です）

大変おこがましいですが、どこにも負けないように自分なりに、勉強をしていると思います。

私が大学を卒業してから20余年が過ぎようとしています。歯科の世界では、20年前とは根本的に考え方が変わってきている分野もあります。いつも、最新の情報知識を得ているのが、当たり前前の職業です。

経験も必要です、最新の知識も必要です、しかし、いっそう必要なのは、私は、**自分を正す場を設けているか**という事だと思います。

開業医は、自分の治療に独りよがりになってしまいます。本や資料で知識、技術を得るのは、当たり前ですが、本当の基礎的な技術を磨くには、きっちりした場所で、レベルの高い人から直接指導を受けるのが1番です。

そこで、私は、歯科、もしくは歯科以外の医学的分野の勉強会・講習会に参加し、他の先生方とディスカッションを行ったり、自分の治療した患者さんの症例を発表したり、他の先生のものを検討したりしています。熱心な先生方の前では、間違った見解の発表や、恥ずかしい発言は決してできません。

これは、自分の診療を正すいい場になっております。

いつも、新しい考え方、情報、技術を入れていかなければ、時代に遅れてしまいます。今後も、このようにして、自分を正す場を設けて診療していくことが、私ども宮本歯科に来ていただいている患者さんの利益と患者さんに「宮本歯科に任せたら絶対安心」と言って頂けることに繋がると思っています。がんばっていきたいと考えます。

さいごに…

宮本歯科で、はじめて、治療される皆さんへ
歯科治療は、どこでも同じではありません。
こんな田舎(※)で開院していますが、技術、知識
は、どの先生にも負けないつもりです。
(※富士市は私の地元でもあります)

「宮本歯科に任せたら、絶対安心」といって頂
けるようにがんばります。

いつまでもあなたが健康なお口と健康な身体を
保っていけるように、これから一緒にがんばっ
ていきましょう。

